

第11回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 合同部会  
 (第24回基盤整備推進部会、第22回まちづくり推進部会) 議事録

開催日時：令和2年12月23日(水) 15:00~17:00

開催場所：JA 共済埼玉ビル 大会議室

出席者：

選出区分	役職等
学識経験者	埼玉大学 大学院理工学研究科 久保田 尚 教授
学識経験者	東京大学 工学部都市工学科 窪田 亜矢 教授
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 総合企画本部 投資計画部 課長 計画調整グループリーダー
鉄道事業者	東日本旅客鉄道 大宮支社 企画室長(代理)
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 計画管理部長
鉄道事業者	東武鉄道 鉄道事業本部 改良工事部長
鉄道事業者	埼玉新都市交通 代表取締役常務
交通事業者	埼玉県バス協会 専務理事
交通事業者	国際興業 運輸事業部 部長
交通事業者	西武バス 計画部 計画課長
地元まちづくり団体	大宮駅東口南地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口南地区市街地再開発準備組合 相談役
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区N街区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区N街区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅前大門町一丁目中地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅前大門町一丁目中地区市街地再開発準備組合 副理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	埼玉県 企画財政部 交通政策課長(代理)
関係行政機関	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課長(代理)
関係行政機関	さいたま市 都市局 理事兼都市計画部長
関係行政機関	さいたま市 都市局 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 建設局 土木部長
関係行政機関	さいたま市 大宮区 副区長
デザインコーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長
オブザーバー	埼玉県 産業労働部 観光課 主幹
オブザーバー	UR都市機構 東日本都市再生本部 事業企画部 部付

■第11回推進会議への報告事項について

○公共的空間等検討エリア・駅舎と駅ビル等機能検討エリアについて

・資料3 P.6、今年度の検討内容で公共的空間等検討エリアと駅舎と駅ビル等機能検討エリアが入っているが、検討の期間や成案の得られる時期等は決まっているのか。

⇒大宮GCSプラン2020案については、これはまだ決まったものではないという扱いで今回はとりまとめるつもりである。ただし、地元の皆様から概ね3年後の駅前広場や再開発、都市計画決定を目指したいというご意見を頂戴しているので、少しでもそれに間に合うように開発街区、事業者と調整していく。図の大きさについても以前からご意見をいただいているため、図の示し方も検討したい。

・公共的空間等検討エリア、駅舎と駅ビル等機能検討エリア、交流広場の意見決定の場や意見聴取方法、プロセス等をどう考えているのか。複数のPTにまたがったテーマに対して、どのようにまとめていくのか。

⇒公共的空間等検討エリアと駅舎と駅ビル等機能検討エリアは駅前広場だけでなく、新東西通路の整備と連動する部分があるうえに、鉄道事業者と市との関係、鉄道事業者と開発街区、市との関係がある。PTは始まったばかりであるが、鉄道事業者や開発街区との調整、新東西通路との調整を並行して行っていく必要がある。

○新東西通路について

・資料3のP.8、オレンジ色の部分は「鉄道上部における人工基盤のコンパクト化に配慮した位置」と書いてあるが、どのような意味か。

⇒新東西通路を整備するに当たって作業を行うための人工地盤を想定している。そこをなるべく小さくすることによって整備費を抑えられるという意味で記載している。

・資料3のP.8、オレンジ色の人工地盤の部分は、JRが作って上部をルミネにしていという話なのか。

⇒人工地盤は新東西通路を作るための作業ヤードとして作る。ルミネをここに移転させる、もしくは新しくここを商業地として利用するという話は別で、そのような話はしていない。

・資料 3 P. 8、「在来線ホーム北端部より南側に設置することにより、利用者動線を確保できる位置」とあるが、これを南側に移動するとこの利用者動線が確保されるのか。

⇒京浜東北線や宇都宮線のホームの位置が新東西通路の位置より北側に少し延びており、ホームよりもっと北側になると乗り換えが難しくなるため、ホームがあるところに新東西通路があることによって鉄道間の乗り換えが便利になるという意味である。

#### ○交通広場・地下車路ネットワークについて

・北地区としては地下 1 階を商業として使いたいため、地下車路の高さに関して、この点を考慮した検討を進めていただきたい。他街区との調整もお願いしたい。

・報告事項資料 1 の P. 1、「南地区の南側の一般車の乗降場のための道路は危ないうえに必要なという意見を伝えたにもかかわらず反映されていない」とあるが、誰の発言か不明だが南地区としては撤回させていただきたい。南地区としては、南地区の南側にも一般車乗降場を作らないとこれからの工事、あるいは地下に入っていくのが中央通りからの 1 本だけになってしまう。

#### ○デザイン調整 WG について

・デザイン調整 WG からの伝達事項の中で特に「歩行者空間が充実する交通機能の空間配置に関する検討」と「縦動線に関する検討」について駅前広場 PT で検討してほしい。

・デザイン調整 WG からの伝達事項として、フレキシブルな利用を可能とする駅前空間に関する検討を新東西通路 PT やスマート駅広研究会、駅前広場 PT で行ってほしい。特に地下車路の街区接続の高さに関して、今年度課題としてかなりフォーカスされてきたと認識している。この点に関しては伝達事項として強く申し上げたい。

#### ○パブリック・コメントについて

・新型コロナウイルスの新しい生活様式も含めて、失敗をするということを前提にしたほうがよいのではないか。誰かが挑戦して失敗したときにどのようにこのまちがそれをみんながカバーできるかが大事で、挑戦を受け入れることは重要なことではないか。

⇒挑戦するという言葉はいい意味で使う部分もあると思うが、開発街区の方は財産をかけている中で失敗はできない。誤解が生じないように「創造的な」という言葉に変えさせていただいた。

## ○その他

- ・全体的な文言について、「駅機能高度化」の高度化ということは何を意味しているのか。また、公共空間という言葉と、公共施設や公共用地というのは私の中では全然違うものだと思っている。もう一度文言を精査して推進会議に回していただけるとありがたい。

## ■今後の検討体制と進め方について

### ○検討体制について

- ・今後のことを考えると PT 同士の調整、専門的な調整がもっと強化されるとよいのではないか。様々な物事の調整事項がガイドラインになっていくことを考えると、実質的な調整機能はもしガイドラインの PT ができるのであれば、そこがリード的な役割を果たして、実質的かつ専門的な調整を行った上でまちづくり調整会議に諮っていく形が望ましいのではないか。

⇒これから具体化していかなければいけない段階を迎えているため、PT の連携は重要なことだと認識している。よりよく推進できる形を検討したい。

- ・これからプランができていくともっと頻繁にいろいろなことを調整していくことが必要になってくるときに、まちづくり調整会議が大きくなるというのはあまりいい方向ではないと思う。上半分と下半分をつなぐ役割としてガイドライン PT みたいなものをしっかりやって、そこで専門家や技術者の方が住民の方々や事業者の方々の心を酌んだ上で行政の方と決めていくという形が望ましい。

- ・首都直下型の地震が今後 30 年に 70% の確率といわれているが、まちづくりに関して専門家の意見を反映させたほうがよいのではないか。

⇒来年の大宮 GCS 懇談会に防災関係の有識者を入れることも検討したい。

- ・会議体が多くて無理があるのではないか。メンバー的にも整理していただきたい。PT ではもっと専門的な分野の検討を進めてほしい。

- ・来年度の組織図にデザイン調整 WG がない。デザイン調整 WG から PT への伝達事項についての回答を得られる場がもうないのではないか。

⇒PT の検討の状況等をニュースでお知らせするとともに、オープンな会議体も作ってお知らせしたい。

- ・道路ができるのは相当時間がかかるため、それまでの間の交通需要マネジメントは絶対に必要である。物流の共同化や TDM の提案についてどの PT で検討することになるのか。
- ⇒駐車場ルール検討会の体制を適宜見直しながら、検討したい。

#### ○スケジュールについて

- ・資料 7、道路整備計画に関して、都市計画手続きの見込み等を含め、説明文の中に道路の話が出てこない。もう少し踏み込んでほしい。
- ⇒道路整備計画は、長期的な視点で検討を進めていきたい。表現方法は考えたい。

- ・PT のスケジュールのイメージで、地下車路に関する計画があるが、いつ頃から工事を始める予定なのか。

⇒交通広場と地下車路ネットワーク両方を検討していかなければいけないと考えているため、整合をとって整備していく。「開発街区まちづくり」とあるが、これのオープンまでに間に合わせていかなければならない。

- ・スケジュールイメージは、今日は非公開資料になっているが、推進会議のときには公開になるのか。

⇒今日皆様のご了承がいただければ推進会議に提出したい。

- ・これだけのスケジュールを組んだ以上はさいたま市の体制をしっかりとしてほしい。少なくともこの開発に関わるメンバーは概ね 5 年までは動かないぐらいの覚悟でいただきたい。部会からしっかりとそういう提案をしてほしい。
- ・部会からの提案という形ではなく、部会でそういった意見が強く出たということは部会長の私から市に伝えていく。

#### ■部会長総括

- ・合同部会は 2017 年から実施してきて、今回で締めくくりということになる。地元の方々、事業者の皆様の多大なご協力のおかげで、当初想像できなかったような素晴らしい絵がいろいろ出てきて、現実にできそうだなという感じを受けている。非常にありがたく思っている。それぞれ思いはあると思うが、大宮をもっとよくするという共通の概念、希望は共有していただき、妥協できるところは妥協していただき、よりよい大宮を目指していただきたいというのが私の切なる願いである。

以上